

ノリ海況速報 第7報 (2022-7)

令和4年12月28日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 (ふさなみ) 12/19 内湾, 12/20 内房

【 水温・塩分の状況 】

- 表層水温は内湾北部が11.6~13.5℃, 盤洲周辺が13.1~13.3℃, 富津周辺が13.5~15.0℃でした。表層塩分は内湾北部が31.3~32.0, 盤洲周辺が31.5~32.0, 富津周辺が32.5~33.7でした(図1)。
- 富津周辺のノリ漁場の一部で、沖合水(高温, 高塩分)の波及がみられました(図1, 2)。

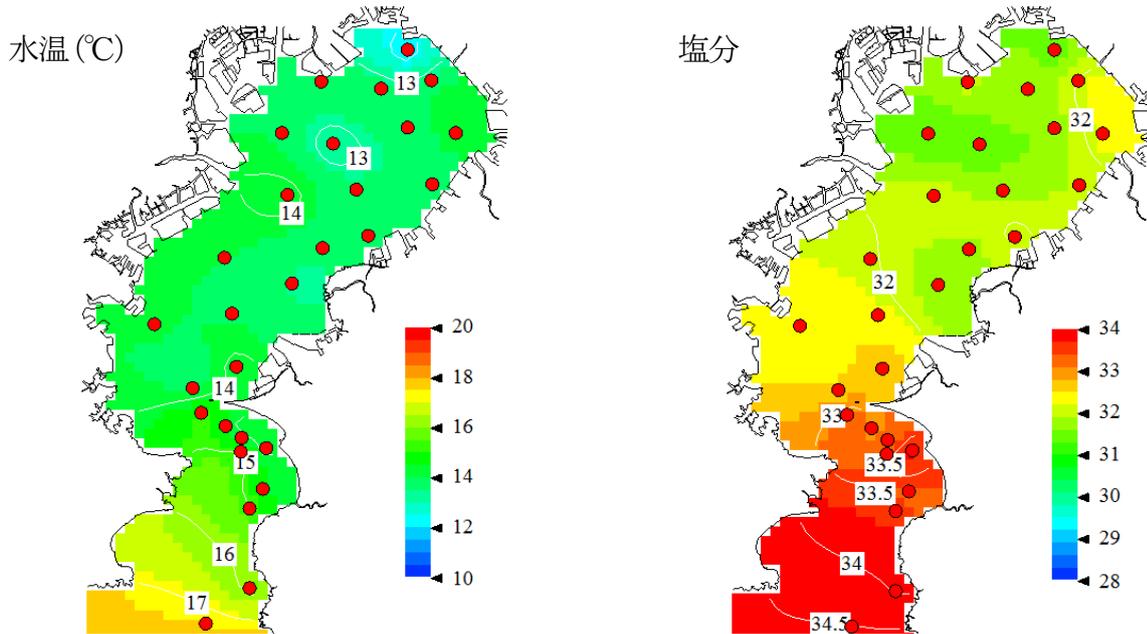


図1 表層の水温・塩分

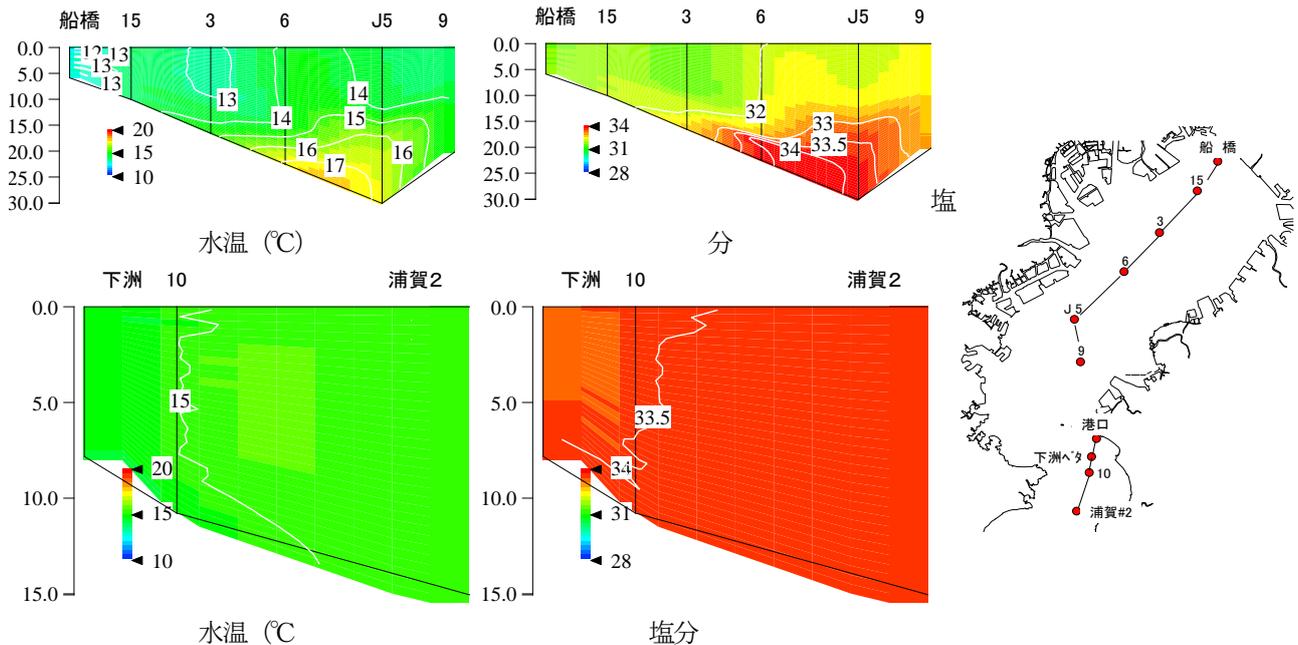


図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布 (上: 内湾, 下: 内房北部, 右: 調査ライン)

【 赤潮・栄養塩の状況 】

- 赤潮は発生していませんでした。プランクトン優占種は珪藻キートセロス属, タラシオネマ属, 渦鞭毛藻類プロロセントラム属などで, 透明度は4.1~7.2 m でした。
- 栄養塩は窒素が内湾北部で550~650 $\mu\text{g/L}$, 盤洲周辺が525~618 $\mu\text{g/L}$, 富津周辺が187~443 $\mu\text{g/L}$, リンが内湾北部で45~58 $\mu\text{g/L}$, 盤洲周辺が41~46 $\mu\text{g/L}$, 富津周辺が14~33 $\mu\text{g/L}$ でした (図3)。
- ノリ漁場の栄養塩は窒素, リンともに高色調のノリの生産に十分な濃度です。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上, 透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上	
高色調のノリの生産に必要なレベル：	窒素 110 $\mu\text{g/L}$ リン 8 $\mu\text{g/L}$
ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：	窒素 90 $\mu\text{g/L}$ リン 5 $\mu\text{g/L}$

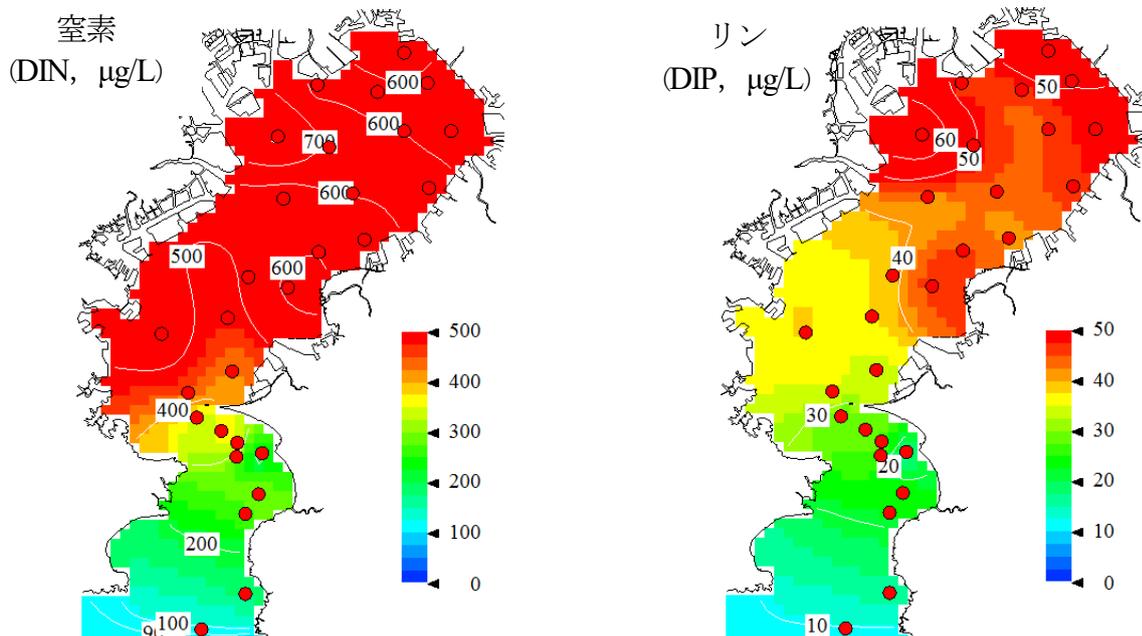


図3 表層の栄養塩濃度の分布

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も, 各ノリ養殖場 (三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南) について, 5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP, もしくは右のQRコードからご覧ください。



東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報, 赤潮発生の目安 (人工衛星画像), 各地の水温変化 (モニタリングポスト), 沖合水の侵入の目安 (潮位), 水温変化の目安 (表層水温, 底層水温分布) などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP, もしくは右のQRコードからご覧ください。



パソコン：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html